

SDGsプラットフォームの 成長と協働に向けて

川久保 俊

法政大学デザイン工学部建築学科教授

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ招へい教授

一般社団法人サステナブルトランジション代表理事

1. 我々の世界を変革する：（企業への影響：サステナビリティ経営） 持続可能な開発のための2030アジェンダ（2015.9）

- ・ 国連で採択された2030年までの世界全体の開発計画
- ・ 2030アジェンダの中核をなすのが持続可能な開発目標（SDGs）



2. パリ協定（2015.12）（企業への影響：TCFD対応）

- ・ 気候変動枠組条約締約国会議で採択された国際協定
- ・ 京都議定書以来18年ぶりの気候変動に関する国際的な枠組み



3. 昆明・モンリオール枠組（2022.12）（企業への影響：TNFD対応）

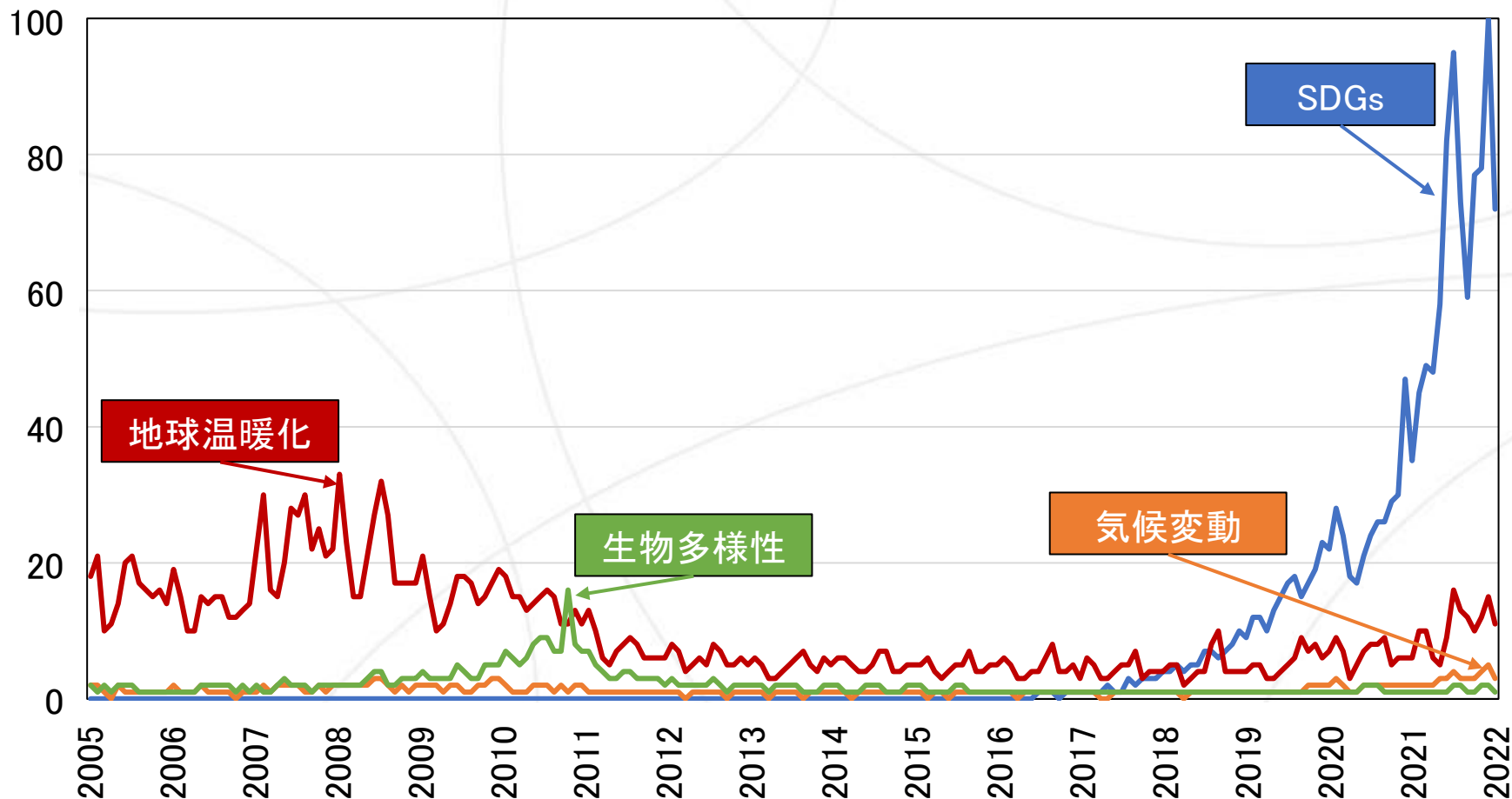
- ・ 生物多様性条約締約国会議で採択された国際的な枠組
- ・ 愛知目標の後継として位置づけられる生物多様性に関する目標



⇒ 2015年以降、持続可能な世界の構築に向けた世界の動きが加速

SDGsの盛り上がり状況

日本における地球規模課題の検索状況(2005/1/1~2021/12/31)



2017年頃よりSDGsの検索数が急増(認知度は上昇、しかしその成果は?)

SDGインデックスに基づく日本の評価：相対的な地位の低下

JAPAN 2017年時点の評価結果

OECD Countries

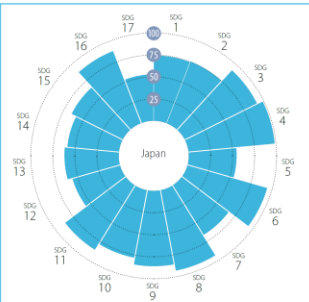
OVERALL PERFORMANCE

Index score Regional average score



SDG Global rank

11 (OF 157) **世界11位**



AVERAGE PERFORMANCE BY SDG

COMPARISON WITH OTHER DEVELOPMENT METRICS

	GLOBAL RANK	SCORE OR VALUE	REGIONAL AVERAGE
GDP per capita, PPP (2015)	23/153	US\$ 37,872	US\$ 38,362
Subjective Wellbeing (2016)	39/133	60.0	66
Environmental Performance Index (2016)	39/157	80.6	84.5
Human Development Index (2016)	15/157	90.3	88.7
Global Competitiveness Index (2016/17)	8/134	78.3	71.4
Global Peace Index (2016)	9/149	72.1	67.1

SDG DASHBOARD



JAPAN 2023年時点の評価結果

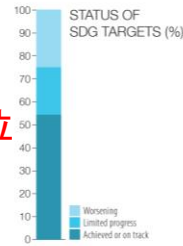
OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING **21** /166

COUNTRY SCORE **79.4**
REGIONAL AVERAGE: 77.8

世界21位



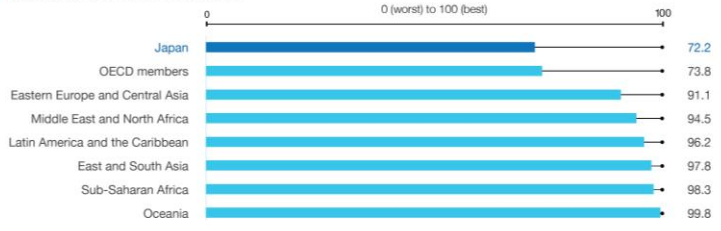
AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



SDG DASHBOARDS AND TRENDS



INTERNATIONAL SPILLOVER INDEX



STATISTICAL PERFORMANCE INDEX



MISSING DATA IN SDG INDEX

3%

出典: Jeffrey D. Sachs, et.al., SDG Index and Dashboards Report 2017 (<https://www.sdgindex.org/reports/sdg-index-and-dashboards-2017/>)
 Jeffrey D. Sachs, et.al., Sustainable Development Report 2023 (<https://dashboards.sdgindex.org/>)

課題1:SD(持続可能な開発)の本質が理解されていない

Sustainable Developmentに関する議論 (Brundland Commission, 1987)

Sustainable development refers to development that meets the needs of the present without compromising the ability of future generations to meet their own needs.

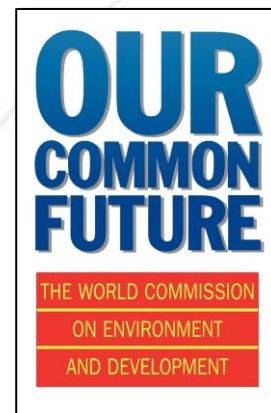
和訳:

将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たす開発

現状: これまで何をしてきたかというPRが多い

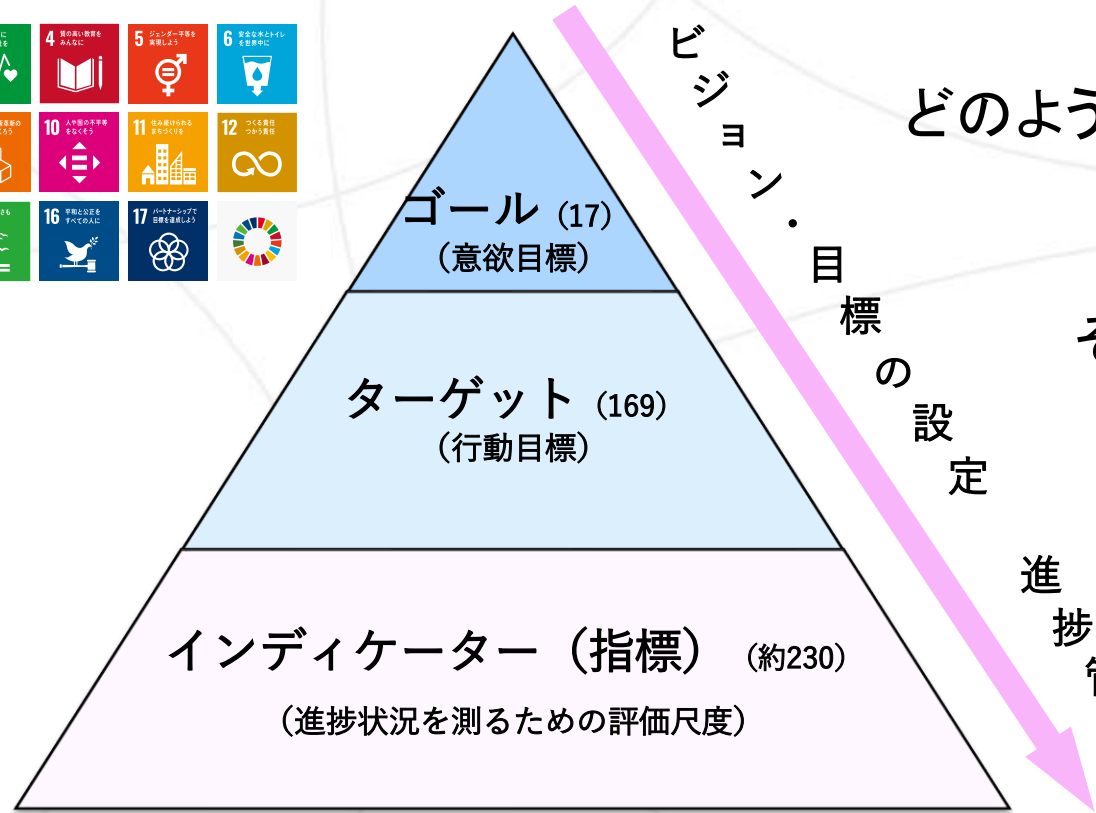
⇒ 今抱えている課題への対応だけではなく、中長期的に自身が何をなすべきか考え、行動につなげていくことが重要

⇒ 将来に向けたビジョン策定と取組シナリオの検討が重要



課題2:SDGsの表面的な理解にとどまっている

ゴール(17)、ターゲット(169)、インディケーター(指標)(約230)による三層構造



どのような社会を作るか？

そのために何をすべきか？

どの程度進捗しているか？

ターゲットレベルまでは最低限理解していないとアクションは困難

2 飢餓を ゼロに



飢餓?? メタボをゼロに
の間違いでは?
日本は既にゴール2
を達成している?



ゴールの下に設けられているターゲットまで確認が必要(ゴール2の例)

TARGET 2-3



DOUBLE THE PRODUCTIVITY AND INCOMES OF SMALL-SCALE FOOD PRODUCERS

小規模食料生産者を支援して、生産性と所得を増加させよう

Small-scale

TARGET 2-4



SUSTAINABLE FOOD PRODUCTION AND RESILIENT AGRICULTURAL PRACTICES

世界中の農業を、何があっても続けられるものに変えていこう

Resilience

TARGET 2-5



MAINTAIN THE GENETIC DIVERSITY IN FOOD PRODUCTION

遺伝子の多様性を維持し、未来の食料生産を守ろう

ABS: Access and Benefit Sharing

TARGET 2-1



UNIVERSAL ACCESS TO SAFE AND NUTRITIOUS FOOD

誰もが毎日、安全で栄養のあるものを食べられる社会に

Universal Access

TARGET 2-2



END ALL FORMS OF MALNUTRITION

特に、幼児・女子・母親・高齢者の栄養不足を解消しよう

Malnutrition

生産

流通

消費

能力開発

TARGET 2-A



INVEST IN RURAL INFRASTRUCTURE, AGRICULTURAL RESEARCH, TECHNOLOGY AND GENE BANKS

開発途上国の農業生産能力を高めるための投資を拡大しよう

自由貿易

TARGET 2-B



PREVENT AGRICULTURAL TRADE RESTRICTIONS, MARKET DISTORTIONS AND EXPORT SUBSIDIES

農作物への輸出制限や補助金をなくし、公平な貿易を実現しよう

食料安全保障

TARGET 2-C



ENSURE STABLE FOOD COMMODITY MARKETS AND TIMELY ACCESS TO INFORMATION

くらしを安定させるために食品価格の急激な変動をおさえよう

これからの社会の共通言語SDGsを正しく使いこなすためには？



共感を生み、協働を促すSDGs取組シナリオの構築が重要

共感を生み、協働を促すSDGs取組シナリオの構築(自治体の例)



出典: 下川町提供資料

共感を生み、協働を促すSDGs取組シナリオの構築(民間企業の例)



男性中心の体育会系でハラスメントの総合商社。劣悪な風土、疲弊した社員、売上低迷

社内環境の整備

トップの強い意志と女性が必要と考え
女性社員の助けを求めた

チーム夢子



女性中心のプロジェクトチーム。誰もが働きやすい職場へ変えていく。

カンガルー出勤



子連れ出勤制度や社内キッズスペース設置などにより女性の定着と職場復帰率向上。

17 パートナートップ 目標を達成しよう

連携した社会課題解決 社会性と経済性を両立した経営

5 ジェンダー平等 8 働きがいから 社会を元気に

- 風土改革
- 女性活躍推進
- 働き方改革

生きがい やりがい 働きがい

メディア 企業 金融 役所 学校

女性比率50%超

[認定]

社会的少数者の方にローコスト住宅提供

1 貧困をなくそう 10 人や国の不平等をなくそう



ひとり親世帯や外国籍世帯の自己効力感向上。教育や夢への投資につなげる。



それぞれの分野に精通した地域の企業やNPO法人とコラボし付加価値をつける。

行政に頼り切らない地域防災で自助・共助

11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を



「庭×アウトドア」で平時利用することで有事の際に自助・共助。



「災害」の単元授業と連動し、協同して「避難できる庭」をデザイン・施工。

出典: 三承工業株式会社提供資料

共感を生み、協働を促すオンラインSDGsプラットフォーム

緊急メンテナンスのお知らせ 2022/1/1 0:00:00 ~ 2:00:00



まずはこのページをチェック

SDGsに関する取り組みを応援するプラットフォーム

Platform Clover



はじめてでも安心！ PlatformCloverの使い方が分かるユーザーマニュアル



SDGsって何？



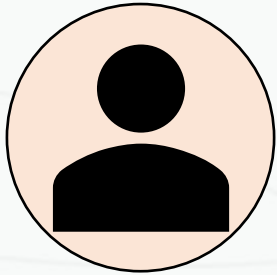
Platform Clover の活用方法



ユーザーマニュアル



活用シーン①

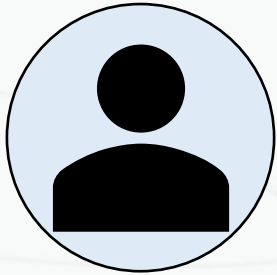


**SDGsの達成に向けて
何か取り組みたい**



**Platform Clover上でSDGs達成に向けた
関連情報の検索、収集が行えます。**
既にSDGs達成に向けて取り組んでいる方々を参考に、
自身の取り組みを検討してみませんか。

活用シーン②



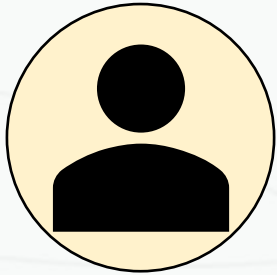
自身のSDGs達成に向けた
取り組みをPRしたい



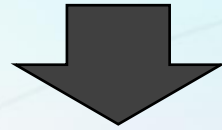
Platform Clover上でSDGs達成に向けた
取り組み情報の発信やPRを行えます。

自身（自身が所属する組織）のSDGs達成に資する
取り組みを発信し、取り組みをPRしてみませんか。

活用シーン③



**SDGs達成に向けて取り組むために
誰かと連携したい**

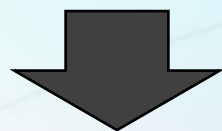


**Platform Clover上で連携相手を探すことができます。
連携することで、自身（自身が所属する組織）だけでは
困難な取り組みに挑戦してみませんか。**

活用シーン④



SDGs達成に向けた取り組みを集約した
専用のウェブサイトを立てたい



Platform Clover上で専用の**SDGs特設サイト**を開設
することができます。独自の特設サイトを開設し、SDGsの
達成に資する地域や組織の素晴らしい多様な取り組みを
PRしてみませんか。

川久保研究室

世界の共通言語SDGsを活かした 建築・都市づくりを研究しています
「持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは



環境研究総合推進費 研究課題 1-2104 ローカルSDGs推進による地域課題の解決に関する研究 HPはこちら

SDGsに関する最新の情報は研究室HPで随時公開中

講座受講完了者に対して資格認定



SDGs中核人材育成プログラム 初級講座・中級講座

【研修動画のタイトル】

- 00 イン트로ダクション
- 01 持続可能な開発とは
- 02 2030アジェンダとSDGs
- 03 持続可能な社会の実現に向けて 日本国内の動向
- 04 各主体における具体的な取り組み 自治体編
- 05 各主体における具体的な取り組み 民間企業編
- 06 各主体における具体的な取り組み 教育機関編
- 07 SDGsアクション 基礎編
- 08 SDGsアクション 実践編
- 09 SDGsアクションの支援ツール



SDGsに関する研修プログラムやコンサルティング事業を展開中

Sustainable Development Goals

持続可能な

開発

目標

- ・長期的な視点で取り組みの方向性を示す

「コンパス」の役割

(ビジョンや中長期計画の明確化)

- ・関係者との協働を促進するための

「共通言語」の役割

(連携相手の発見、優秀な人材の確保)

- ・持続的に取り組みを推進するための

「エンジン」の役割

(組織の変革、事業機会の増加)

を果たすもの

ありがとうございました

本発表内容の一部は、(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費「ローカルSDGs 推進による地域課題の解決に関する研究」(JPMEERF20211004)の支援を受けて得た成果です。ここに記して関係者の皆様に深甚の謝意を表します。

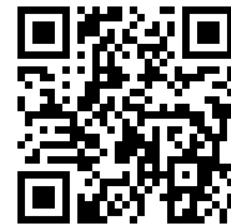
連絡先:

川久保俊 Shun Kawakubo, 博士(工学)

法政大学デザイン工学部建築学科 教授

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 別館T3011

Website: <https://kawakubo-lab.ws.hosei.ac.jp/index.html>



川久保研究室では世界の共通言語 SDGs を
活かした建築・まちづくりの方法を研究しています

